

会議録(1月)

平成27年1月30日
教育委員会会議室

1. 出席委員 委員長 菊池 清隆 委員 藤岡 富生 委員 松本 学
委員 興梠 瞳 教育長 島崎 善真理
2. 書記 教育次長 武内 秀元
3. 報告
 - (1) 中学校統合準備委員会について
 - (2) 平成27年度西臼杵郡教育委員会連合会負担金について
4. 協議
 - (1) 教育に関する「大綱」(案)について
5. その他
 - (1) 第5回市町村対抗駅伝大会の結果について
 - (2) 第45回町民駅伝競走大会及び第30回小学生ロードレース大会について
 - (3) 五ヶ瀬教育ビジョン(豊かな体験活動)の取組について
 - (4) 佐伯勝元教育基金について

連絡事項

- (1) 教育委員会行事予定(1・2月)について

会議録 午後4時30分開会

委員長 あいさつ

議事録署名委員：興梠 瞳 委員

【3. 報告】

1 中学校統合準備委員会について

- ① 武内次長が資料に基づき以下のように説明する。

■ 総務部会

- ・第5回統合準備委員会の総務部会を1月13日に全員出席のもと、開催した。
協議内容は、制服デザイン及び校章デザインの2点についてであった。

制服デザインについて

- ・小学校4年生、5年生の保護者に対してアンケートを実施する予定であったが、
アンケートで制服を決定するのは意見が分かれ、最終選定に苦慮するのではと
いう意見があり、総務部会の中で制服を一つに絞り、それを小学校参観日に両

中学校長が持つて行き、説明することとなった。

- ・総務部会では、ゴールドラインのセーラー服を推薦した。費用面を考慮し、セーラー服の方が保護者の負担を軽減出来ると判断した。

校章デザインについて

- ・前回の総務部会で、近隣市町村で統廃合を行った学校ではどのように行ったかを確認することとしていたので、4つの事例について報告を行った。
- ・部会員の菊池氏が、兄でオガタ看板店の小方克浩氏に中学生のデザインを見てもらい、組み合わせた形でデザインするとどうなるかをデザインしてもらい、総務部会で検討した。
- ・小方氏は、デザインのプロであり、現在、三ヶ所中学校の保護者でもあるため、出来れば小方氏に依頼してはどうかという結論に達した。予算については、平成27年度の補正予算で対応し、予算確保後に正式に委託する。

次回開催について

- ・他の部会の状況を確認したいので、全体会を開催してほしいと要望があり、2月17日のPTA部会に合わせて開催する予定である。

■ PTA部会

- ・PTA部会を1月14日に三ヶ所中学校で開催し、教育振興会規約について引き続き協議した。

規約の会費について

- ・正会員の会費を決定した。現在、三ヶ所中学校が月額350円、鞍岡中学校が500円となっており、今後はPTA戸数も増え、収入の増加も見込めるから、月額350円とした。
- ・協力金については、現在、三ヶ所中が年額600円、鞍岡中は金額は自由とし、年額最高1,200円としている。徴収方法も各学校で異なり、特に鞍岡地区ではこれまでの複雑な経緯がある。協力金について鞍岡地区の公民館長と一度協議をする必要があることから今回は保留とした。

(質疑等)

Q オガタ看板店がデザインした校章のデザインは、あるのか。

A 預かっていないので、今は無いが、次回までに預かる。

Q セーラー服は、寒くないのか。胸元が広がっていて寒いのではないか。

A 胸元は詰まっているので、さほど寒くはないと思う。

Q 制服の金額はどれくらい上がるのか。

A 5,000円程度上がり、32,000円程度になる。定価は、37,000円程度であり、メーカー及び町内小売業者が儲け幅を落として金額を下げた。

Q 今の制服と色が同じなので、今後もスカートは使えるのではないか。

A 使えるということを聞いている。

2 平成27年度西臼杵郡教育委員会連合会負担金について

- ① 武内次長が資料に基づき以下のように説明する。
- ・西臼杵郡教育委員会負担金だけでなく、教育委員会に関連する負担金について、負担金審議会の結果を報告した。
 - ・要求額と変わったものが、①西臼杵郡教育委員会連合会負担金102,000円の減額、②西臼杵郡体育協会負担金300,000円の増額、③西臼杵郡公民館連絡協議会負担金18,000円の増額となった。
 - ・西臼杵郡教育委員会連合会負担金は、27年度に九州ブロック研究大会が沖縄県で開催され、その旅費について要求したが、27年度事務局である高千穂町の事務局職員分のみ措置され、日之影町、五ヶ瀬町については減額された。このため、一般会計から予算措置するよう求められた。
 - ・西臼杵郡体育協会負担金の増額は、繰越金がほぼ無くなつたことが影響し、負担金増額無しでは運営出来ないというのが主な理由であった。
 - ・西臼杵地区特別支援教育研究会負担金は、これまで高千穂町のみで負担していたが、27年度からは3町で負担することとなった。負担割合は、学校数割とした。

(質疑等)

Q 九州大会は当初、2泊で予定されていたが。

A 宮崎市が1泊ということで、1泊に変更したこと。

【4 協議】

1 教育に関する「大綱」(案)について

- ① 武内次長が資料に基づき以下のように説明する
- ・平成27年4月以降、首長及び教育委員会で、総合教育会議を設置し、大綱を策定することとなっている。大綱については、首長が策定することとなっているが、平成23年度に策定した「第5次五ヶ瀬町総合計画」の教育・人材育成部分をそのまま大綱に引用することを考えている。
 - ・具体的な施策について、首長側と教育委員会側の役割を明確にしていくことを考えている。首長側については、殆どの項目について予算の確保という役割になるのではないかと考えている。
 - ・現在、大綱案を作成中であり、3月の定例教育委員会で改めて提示したい。4月に入って総合教育会議を開き、大綱を決定する予定である。
 - ・計画の期間については、第5次五ヶ瀬町総合計画の期間があと6年残っている。大綱の対象期間の目安は、首長の任期が4年であり、国の教育振興基本計画の対象期間が5年であることから、4~5年程度を想定されている。五ヶ瀬町については、総合計画の終期に合わせ、平成32年度までの6年間を予定している。次期総合計画が再び10年で策定されると、前期計画、後期計画として5年ごとの計画になるので、平成33年度から5年の計画となる予定である。

(質疑等)

Q 総合計画が4年経っているので、内容を検討しなければならない事項もあるのではないか。そのためには、早めに検討する場を設けてほしい。

A 現在、教育長に見ていただいており、現状と違う部分があるので、現状に合う形で案を考えたい。

【5 その他】

1 第5回市町村対抗駅伝大会の結果について

① 武内次長が資料に基づき以下のように説明する。

- ・1月12日に、宮崎市で開催された。2チーム参加し、町村の部でAチームが7位、Bチームが15位であった。
- ・新聞でも評価されていたが、五ヶ瀬町は第1回目からずっと2チームに拘って出場している。1チームにすればもっと強いチームが出来るかもしれないが、五ヶ瀬町は、今後も2チームに拘る必要があるのではないか。ただ、50代の選手の確保が難しいので、早めの対応していきたい。

(質疑等)

- ・応援に行くには、場所の確保が大変ではないか。何箇所か移動して応援したいが、移動がし難い。
- ・応援についても、新聞に載っていたが、以前、五ヶ瀬にいらっしゃった先生方が「五ヶ瀬町を愛する会」を結成していただき、五ヶ瀬町を応援いただくのは、大変ありがたいことである。

2 第45回町民駅伝競走大会及び第30回小学生ロードレース大会について

① 武内次長が以下のように説明する。

- ・平成27年2月15日に開催する。今回、監督会で、荒天の場合は、延期はせずに中止とすることを決定した。昨年、積雪の影響で延期したが、延期によって参加チームが6チームに減ってしまった。そのため、昨年12月の監督会で延期はしないことを決定した。
- ・エントリーは、一般の部が17チーム、オープンが7チームで合計24チームである。
- ・小学生ロードレースも同日開催で、現在100名程度のエントリーがある。三ヶ所小学校の女子バレーの試合が入り、7名程度キャンセルされた。

(質疑等)

Q 今からチームが増える可能性があるのか。

A 申込は、締め切っているので増えることはないとかもしれない。昨日、監督会も行われている。

3 五ヶ瀬教育ビジョン（豊かな体験活動）の取組について

① 松下指導主事が資料に基づき以下のように説明する。

- ・本年も一年間をかけて取り組んだ。4年生が2月3日の9時30分から11時30分に町民センターで、学習を受けての発表会を開催する。児童が、ぶどう生産者、行政、町民等の立場を決めて、例えば、ワイナリーに人を呼ぶためにはどうしたら良いか等を質問し、行政としてこんなことが出来るんじゃないとかを討論する。小学校4年生なりの発想の中で、パネル討論会を行う。
- ・1年生が来年度の修学旅行に向けて、2月中に椎茸の調理実習を行い、レシピ作りに向けた取り組みを行う。今回は、1年生が人数が多く、指導者の方を含めると50名を越え、一堂に集まると危険なので、それぞれ学校ごとに行う。
- ・23年度から取り組んできて、中学校3年で町に提言をするように取り組みが出来るというところまで来た。これを次年度、もう少し固めていって、飛行機で言うと水平飛行になるのではないかと考えている。

(質疑等)

- ・子供たちは、地域の方や皆さんからの協力があって、貴重な体験をしたと思う。
子供たちは、経験したことをこれから活かしてほしい。
- ・干し柿作りに義母が行ったが、親御さんも分からなかったことに驚いていた。
柿の木がどこにあるのかも知らない。皮むきも、現在はピーラーを使うため、縦に向いていたことにも驚いていた。
- ・低学年は、親御さんも一緒に参加されると良い機会ではないかと思って、その話を聞いた。

Q 吊るし柿は上手くできたのか。

A この前、食べていたので出来たのではないか。

- ・最近は、寒さが足りないので、吊るし柿が出来難いようである。
- ・高齢者の方が先生になるのはとても良いことだと思う。

4 佐伯勝元教育基金について

① 武内次長及び松下指導主事が以下のように説明する。

- ・昨年12月21日から27日までの児童生徒海外派遣研修は、無事予定通り帰国した。現地の写真を貼付した資料を配付し、説明した。

(質疑等)

Q 報告会はいつ頃予定しているのか。

A 中学3年生の高校入試があるので、入試に影響しないよう日程調整したい。
内容は、全員報告してもらうが、時間等は設定せずに負担にならないようにしたい。

連絡事項

- 1 委員会の12・1月行事予定
※ 一覧表により次長が説明する。

次回の定例教育委員会日程

平成27年2月18日（水）午後5時30分 教委委員会において開催する。

閉会時刻 午後5時46分

教 育 委 員 長

会議録署名委員

会議録調整者